

よいことの ために 手を取りあおう

週報 Weekly Report 2025-2026

事務所 三重県伊賀市西明寺 2756-104 ヒルホテルサンピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656
例会 毎週木曜日 12:30 第3週例会 18:00 点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000



■URL : <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/>
■e-mail : u-eastrc@ict.ne.jp

本日の例会 第2084回 2025年10月9日(木)

開会点鐘 12:30

ロータリーソング『我らの生業』

歌唱指導『秋桜』

出席報告

会長の時間

幹事報告

ニコニコボックスの報告

委員会・同好会報告

ロータリーの友読みどころ

本日の行事 『地域経済の強化と世界情勢の影響』

きらめきFPLABO代表 辻本美生 様

閉会点鐘 13:30

前回の例会 第2083回 2025年10月2日(木)

開会点鐘 12:30

ソング 『君が代』『奉仕の理想』

歌唱指導

出席報告

会長の時間

幹事報告

ニコニコボックスの報告

委員会・同好会報告

本日の行事 『米山月間に因んで』

米山記念奨学委員会委員 杉本治 様

閉会点鐘 13:30

出席報告 中里会員

正会員 37名、出席者 29名 出席率 87.88%

会長の時間



皆さんこんにちは。今日から10月ということで、クールビズが終わりまして、ネクタイ着用ということで、緑のネクタイをしてる人がちらほらということです。誕生月のプレゼントがネクタイ緑色です。今日はですね、朝から、45周年のPRということで、ケーブルテレビさんで9時半から収録をさせていただきました。無事終わって10月10日に、1日流していただくということで、緊張している八右衛門の顔を見ていただければいいかなと思います。そして、ちょうどケーブルテレビにお伺いしたところ、

米山留学生、張センセンさんが働いておりました。また機会があれば、ぜひとも卓話お願いしたいと思いました。そして、28日の日曜日、田山さんの叙勲お祝いに参加をさせていただきました。改めまして、田山さんの生き様というか、幼少の頃から、聞かせていただきまして、本当に田山さんの人生を感じたところであります。今日は、米山月間ということで、杉本さんにはこの後、卓話を賜りますけれども、私もちょうどこの30年前に、JCの現役の頃、35歳か6歳ぐらいの時かな、JCのミッションでネパールに学校を建てるということで行きました。カトマンズについて一時間。国内線に乗って、そこから2時間。水もない、電気もない、そこで、学校建設ということでさせていただいて。

また、いろんな勉強というか、字が読めない、子供が字が読めないということは、知識が全く入ってこないということで、また、衛生面で問題があるということで。まあ、色々ですね。今日の奨学金の目的といたしましても、やは

り、海外の途上国から、日本に来ていただいて、また地元に戻って、地域を広めていただくことが、目的であったろうかなと思いますので、まあその辺の話も聞きながらですね。

皆さん、いろんな奨学金のご寄付もよろしく、ご祈願を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

幹事報告

- 1 本日理事会において、11月プログラムが承認されました。プログラム委員よりご報告させていただきます。
- 2 11月3日に上野ガスさんの場所をお借りして、ポリオ募金活動させていただきます。
- 3 11月8・9日地区大会開催されます。参加の方は登録料を幹事・事務局までお願いします。1万2千円です。

ニコニコボックスの報告 樋口委員長

木津会長…杉本治様本日の卓話よろしく願いします。

宮岡幹事…米山記念奨学委員会杉本治様本日の卓話よろしく願いします。

三山・神戸会員…田山さん旭日小綬章おめでとうございます。

中井会員…こんにちは。木津会長、鈴木エレクト先日はありがとうございます。杉本委員長をお迎えして伊藤・瀧山・中尾・西・中里会員…ホーム例会欠席のお詫び

三谷会員…ニコニコボックスに協力します。

平井・岡田・西会員…米山月間にちなんで卓話杉本様よろしく願いします。

栗本・長谷川会員…米山記念奨学会杉本様本日卓話よろしく願いします。

山森・出後・小林・山本・福永会員…杉本様ようこそいらっしゃいました。卓話よろしく願いします。

委員会報告 長谷川45周年実行委員長

例回終了後第3回実行委員会が開催されますので、メンバーの方は、ご参集ください。

本日の行事： 『米山月間に因んで』 米山記念奨学委員会 杉本治 様

米山記念奨学事業の設立と発展の歴史

- 1920年: 日本で最初のロータリークラブである東京クラブが発足。初代会長は米山梅吉氏。
- 1952年: 米山記念奨学会が設立される。
- 1967年: 文部省の認可を受け、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会に名称変更。

米山奨学生の選考プロセスと奨学生として課される義務

- 書類選考と面接を経て決定される。
- 毎月1回以上、世話クラブの例会に出席する。
- ロータリーの行事（クラブや地区）に参加する。
- 4月・5月のオリエンテーションに出席する。
- 修了式に出席する。
- 9月と2月の年2回、レポートを提出する（カウンセラーの一言が必要）。

- 休学や出国する際は、事前に届け出が必要（出国は最長 60 日まで）。

米山記念奨学事業に関する地区委員会年間活動スケジュール

- 7 月 13 日：第 1 回委員会開催。
- 9 月 7 日：奨学生とカウンセラーの研修・中間報告会と第 2 回委員会開催。
- 11 月 15 日（予定）：奨学生の中間報告、次年度選考クラブ説明会、米山ナイトの開催。
- 1 月 11 日、18 日：次年度奨学生選考の面接を実施（三重県と岐阜県で分けて実施）。
- 3 月 6 日：カウンセラーと奨学生の修了式。
- 4 月：新年度奨学生とカウンセラーのオリエンテーション開始。
- 5 月 23 日（予定）：指定学校向けの説明会開催。

日本独自の事業である米山奨学事業の全体像とその目的

- 日本の 34 地区が合同で実施する、日本独自の事業である。
- 日本で学ぶ外国人留学生を経済的に支援し、ロータリーの精神を学んでもらうことが目的。
- 将来、日本と世界の架け橋となる人材を育成することを目指す。
- 年間事業費は約 14 億円。

2025 年度米山記念奨学生の状況

- 期間: 2025 年 4 月～2026 年 3 月
- 総数: 17 名（岐阜 9 名、三重 8 名）
- 主な出身地: 中国、韓国、インドネシア、パキスタン、ベトナム、バングラデシュ、スリランカ、ミャンマー、ブータン、モンゴルなど、東南アジア系が多い。

奨学金の種類と支給方法

- 大学生: 月額 10 万円（最長 2 年間、通常は 1 年または 1.5 年）。
- 大学院生: 月額 14 万円。
- 地区推奨者: 月額 7 万円または 10 万円（現在該当者なし）。

奨学金は 2 ヶ月に 1 回、世話クラブに送金される。奨学生が月に 1 回例会に来た際に、ありがたみを感じてもらうため手渡しで支給する。例えば、4・5 月分は 3 月に、6・7 月分は 5 月に振り込まれる。

世話クラブの役割と補助金

- 各奨学生に世話クラブが割り当てられ、カウンセラーがサポートを行う。
- 世話クラブには年間 6 万円の補助金が 7 月に支給される。
- 補助金の使途: 奨学生の例会出席時の食事代、クラブや地区の行事参加登録料などに使用できる。使途に厳しい規制はなく、領収書も不要。
- 奨学生が遠隔地へ行く際の交通費補助もある。

海外出身者との交流における注意点

国によっては、日本では問題視されないような行動がパワハラやセクハラと解釈されることがあるため、注意が必要である。相手の文化を尊重し、安易な身体的接触は避ける。

奨学生とのサポートおよび交流活動

奨学生をサポートする際、特に一对一の状況は様々な問題を引き起こすリスクがあるため、複数人での対応を原則とする必要がある。

自宅に食事に招くといった形での交流は良い方法の一つである。

学友会を通じた卒業後の関係維持

卒業生の多くが、就職のために東京、名古屋、大阪などの大都市へ移住してしまい、三重県や岐阜県といった地域への定着が難しいという課題がある。このため、卒業後も彼らとの関係を維持し、交流を続けることを目的として「学友会」が設立・運営されている。

- 学友会は、以前から存在していたが、約 3 年前に機能が拡張され、活動が活発化した。
- 年に 4 回ほど、日本の文化を体験してもらうための行事を企画・実施している。